

一般研究発表1日目 6月28日(土)10時～

※各発表の当日配布資料は発表者が用意した予定部数のみ

	第1会場E202	第2会場E203	第3会場E204	第4会場E217	第5会場E218	第6会場E219
10:00-10:40	命令者による見本の提示 ーウィトゲンシュタイン『哲学探究』における命令の遂行 榎野沙央理	その都度の自我と持続的な人格 -D. ヒュームの議論を手がかりにして 福田敦史	スピノザと自然の一性 大野岳史	バルクソンへのスペンサーの哲学的寄与について 北夏子	自由と倫理の接点 越門勝彦	プラトン哲学とことば 田中あや
10:40-11:20	偽なる信念における行為の理由 鈴木雄大	ヒュームにおける好奇心と学問的野心ーなぜ哲学をさすのかー 渡辺一弘	哲学小説の誕生ーフリードリヒ・ヤコビの『アルヴィル』『ヴォルデマル』を読む 佐山圭司	デリダの趣味判断批判における「アレギー」と「吐き気」の問題カン ト『人間学』と五感のポリティックス 田島樹里奈	ケアの分配と正義の原理 佐藤静	プラトンの分割法再考 中島 立博
11:20-12:00	ファイル・フレームワークにおける空名の指示 成瀬翔	カント『判断力批判』における反省的判断力と自然目的 渋川 優太	レヴィナスにおける「内在的超越」について 佐藤香織	個体と文化 アンリの生の現象学における制度化と共同体 川瀬雅也	動物実験の倫理ー人格の程度というーノ瀬の考え 浅野幸治	アイデアの超越：魂の変容と現実の開示 納富信留
13:00-13:40	自省的態度の報告文と誤同定免疫 森永豊	『純粋理性批判』第1版超越論的演繹論の構造をめぐって 辻麻衣子	ジャンケレヴィッチの郷愁論における《quod》 奥堀亜紀子	面接室のなかの椅子の軋みについての現象学的考察 塩飽耕規	『幸福を与える智慧』における法学 ウイグル民族の法思想 ムフタルアブドゥラフマン	

一般研究発表2日目 6月29日(日)10時～

	第1会場E202	第2会場E203	第3会場E204	第4会場E217	第5会場E218	第6会場E219
10:00-10:40	ホワイトヘッド哲学における知覚論ー命題にもとづく知覚論と象徴的関連付けとの総合的解釈にむけてー 佐藤陽祐	「認識論の意義と課題」とは何だったのか エドゥアルト・ツェラーの場合 渡邊浩一	純粋経験が生じる場所ーW・ジェイムズの「純粋経験」概念の検討 大厩諒	生の連関のなかでの意味ー人生の意味の探求という仕方 上島洋一郎	初期マルクスにおける身体性と学的媒介ー『経済学・哲学草稿』の「哲学」試論 秋元由裕	アリストテレス『デ・アニマ』における感覚・表象論ー「あらゆる現われは真である」とする学説をどのように反論したのかー 太田稔
10:40-11:20	「一」と「多」ーラッセルの存在論と論理ー 西村敦	ヘーゲル概念論における個体概念と概念の個 木本周平	セラーズの所与の神話批判はどの程度成功しているのか？ 笠木雅史	カッシーラーの〈象徴〉概念について 庄子綾	技術の哲学と批判の可能性：ファーベークと三木を踏まえての再考 大家慎也	徳の相対化について新アリストテレス主義的自然主義の課題と修正 本田誠也
11:20-12:00	どうして素朴实在論を採用すべきなのか 新川拓哉	ヘーゲル「精神哲学」における主観的なものの生成 池松辰男	パースの心の理論の外在性をめぐる考察 加藤隆文	哲学はなぜ世界観を前提しなければならないのか 丸山文隆		

公募ワークショップ 6月29日(日)13時～

	第1会場 E301	第2会場 E310
13:00-15:30	戦争とロボットについての応用哲学的考察 オーガナイザー：久木田 水生 司会：神崎宣次 提題者：岡本慎平、久木田水生、佐々木拓、本田康二郎	暮らしの哲学 オーガナイザー：山森裕毅 提題者：久保明教、渋谷亮、山森裕毅
15:40-18:10	ウィトゲンシュタインの哲学を貫くものと分か つもの オーガナイザー：古田 徹也 提題者：荒畑 靖宏、入江 俊夫、山田 圭一	道徳心理学の最前線 オーガナイザー：太田紘史 提題者：太田紘史、立花幸司、田中泉史